



れいわの会 森本 隆

GREETING

ごあいさつ

昨年、森本たかしNEWSをご愛読頂き、ありがとうございます。
今年も、市政の課題、市政への提案を数値化して、わかりやすくお伝えします。
引き続き、よろしくお願い致します。

議員研修報告

愛知県安城市議会でのICT研修

ICT先進議会の愛知県安城市を議会運営委員会の研修として訪問。議会へのICT(タブレット等)導入の課題、進め方、導入効果を研修。我々の議会へICTを導入するために大変参考になりました。



▲議場大型モニター



▲議場リモートカメラ



▲議場にて

イベント参加報告



▲恭仁神社

市観光協会主催の「ふたぎの杜」撮影会に参加 (LUMIXとのコラボ事業)

木津川アート2020年のプレイベントとして行われた撮影会に参加し、加茂恭仁京、恭仁神社など地元の歴史ある地域を堪能しました。撮影終了後、写真家の佐藤先生に参加者全員で恭仁小学校体育館で講評を受けました。



▲プレイベント



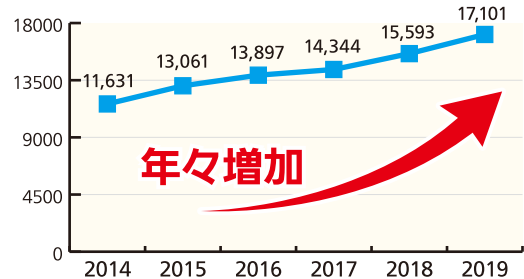
▲恭仁小学校体育館

パークマネジメント(パークPFI)導入を考える

市内都市公園状況 (市内 150箇所、公園維持費 TOP7)

	公園維持費(万円)	面積(m ²)	特徴
木津川台公園	888	40,005	池等景色良い
城址公園(城山台)	850	86,500	展望台景色良い
土師山公園(相楽台)	820	21,168	高の原駅隣接
兜谷公園(兜台)	759	40,000	学校隣接
梅美台公園	603	34,528	
くにみ台公園	455	20,805	
音浄が谷公園(相楽台)	336	11,310	

公園管理費推移(年間:万円)



年々増加

都市公園の課題

- ①市内都市公園の公園管理費が年々増加して、年間1億7千万円(5年前の約1.5倍に増加)。
 - ②都市公園の活用ができていない(高齢化、市民ニーズの多様化)。
- 民間資金、ノウハウを使った新しい手法で解決できないか。

パークPFIの概要

- ①都市公園(市有地)の運営委託を契約期間最大20年間と長期契約可能。(都市公園法が2017年に改定、従来は最大10年契約のため投資が難しかった)。
- ②民間事業者の自己資金で公園施設として店舗の設計、建設、運営ができる。

事業のメリット

- ①都市公園に新しい魅力、カフェ等を民間資金とノウハウを活用して設置できる。(奈良市鴻池運動公園のカフェは、奈良市パークPFI事業の一例)
- ②市有地賃貸料として、安定した収入が市に入る。

私の考え

- ①パークPFI事業候補地として、木津川台公園、城址公園、兜谷公園、^{どしやま}土師山公園を提案し、コンペ方式で事業者を募り、収益性、将来性を検討して、モデル事業をスタート。
 - ②モデル事業の運営ノウハウをもとに、市内の都市公園への展開を考える。
- 公園維持管理費の回収、都市公園の魅力創造を進める。

12月議会での質問 (一般質問)

質問 1 今後の財政見通しを問う

Q 森本隆 財政状況について、平成28年度経常収支比率が97.8%と厳しい状況であったものが2年後の平成30年度決算で93.6%と、短期間で改善された理由を市民にわかりやすく説明したい。平成30年度の財政見通しが、基金残高見通し88億円に対して、決算実績113億円となった。この25億円の差異を問う。

A 総務部長 財政見込みは、平成27年決算ベースに、それ以降の人口増加、扶助費の増加を推計して算出。増収増を上回る扶助費等があるため、扶助費等の増に基金を充当することで見通しを出した。実績との乖離については、人件費の特例減額措置、公共施設の見直し、保育園の民営化、クリーンセンター稼働によるごみ処理経費の削減等の行政改革の効果が現れていると分析している。

経常収支比率がこの3年間で4.5%相当分、約7億5千万円の収支が改善した。歳入は、約4億5千万円増、地方税は約3億円増、市民税納税義務者が1785人増、新築家屋が1130棟増によるもの。歳出は、約3億円の減少、ゴミ処理経費削減が大きく寄与している。

Q 森本隆 今後の大型投資は何か。

A 総務部長 第二次総合計画で、城山台小学校増築、消防署庁舎建設等を見込んでいる。

Q 森本隆 今後の財政的な課題は、来年度から導入される会計年度任用職員導入等による人件費増だと思いが、どの程度見込んでいるのか。また、対策は。

A 総務部長 総人件費として、2〜3億円増加する。対策は、組織機構の見直し、民間委託等の活用を図り、総人件費の抑制を図ることを考えている。

Q 森本隆 人件費抑制については、人事評価制度活用、フレックス制度導入等を検討すべきと以前から提案してきたが進捗は。

A 市長室長 人事評価制度は2年前から勤勉手当に反映、給与への反映を進めている。時間管理フレックス制度導入は組合と協議中。

質問 2 民間資金を活用したパークマネージメントで新たな財源を生み出せ

Q 森本隆 平成29年度の都市公園法改正により、飲食店、売店等が民間資金を活用して、設置しやすくなった。この新しい制度で新財源を生み出し、収益を公園管理費に充当すべきと考え。市の公園維持管理費の推移は。

A 建設部長 年々増加して、年間1億7千万円。都市公園は、市内150箇所。

多い順に、木津川台公園年間888万円、城址公園850万円、土師山公園820万円、兜谷公園759万円と年々増加している。

Q 森本隆 奈良市の鴻池運動公園のスターバックスもこのパークマネージメント事業の一環である。運営の契約期間が最大20年と長期契約できるようになって注目を集めている。自治体は、既存の公園を良好に管理する時代に入り、また、公園利用者のニーズも変化して、快適に利用することが住民目線で求められている。都市公園を民間資金と運営ノウハウを活用して、「パークPFI」手法を使って、1年を通じて集える公園にしていけないかと提案する。

A 建設部長 「パークPFI」については、市の特徴、可能性を今後研究していきたい。

Q 森本隆 今回の「パークPFI」を導入した仮定の話だが、国の資料によると土地賃料は最低1㎡当り2000円という条件がある。この制度を使うと市有地を活用して安定した新財源が見込める。チャレンジするに値する事業だと思いが、市長の見解は。

A 市長 このような方法を活用して、木津川市の公園を利用して頂けるところがあるのかを調査して、市有地を活用して、財源を頂きながら管理していく方法を研究していきたい。

市内の魅力的な都市公園



森本 隆
【もりもと たかし】
プロフィール

無所属
れいわの会所属

1959年 大阪府生まれ/1997年から兜台7丁目在住
大阪府立茨木高等学校卒業/京都工芸繊維大学 機械工学科卒業
元パナソニック(株)社員 [勤続32年・2015年退職]/議会運営委員会 委員長(2019年~)
主な活動履歴 ●兜台7丁目自治会長(2期) ●青少年育成委員(4年)
●東日本大震災「はじめての一步コンサート」を主催(2011年から5回実施: 於 高の原)
[家族] 妻と一男一女 [趣味] 写真撮影、旅行、ゴルフ
http://takashi-supportclub.jimdo.com/
morimoto077473@clock.ocn.ne.jp

HP開設中

